

年間9万人を目標に計画しています。
医療通訳士養成講座の受講者を募集します。
～私たちの大学でも、講座を開講しませんか～

通訳士になれば、日本を訪れる中国人の力になります。

本大震災の影響で一時期多くの中国人が日本への渡航を控えていましたが、ここへきて再び日本の旅行客が増えてきています。同胞にとってのせっかくの旅行を、快適に、安心して滞在できるものを作ってあげたい。そんな思いに応えられる仕事が医療通訳士です。医療通訳士は、単に中国人と日本人に立って通訳するだけでなく、日本を訪れた中国人が万が一体調を崩したりケガをしたときにも力になるよう医療の知識も備えた通訳士で、人間ドックや脳ドック、PETなど、医療ツアーなどで訪れる同国人になることができます。

医療目的で来日する中国人の中には、中国政府の関係者や中国企業のトップクラスの要人も含まれ、中国大使館を通して依頼されるケースもあります。医療通訳士の仕事をすれば、これらのVIPのネットワークを構築できます。通訳士として認定されると就職にも、あなたのキャリアアップにも役立ちます。

通訳士の仕事は、あなたの空いている時間を活かしてできる仕事です。中国人の患者と日本人の医師にたって通訳する、あるいは在宅でカルテなどの中国語・日本語の翻訳をするなど、アルバイトとしてできる仕事です。

通訳士の資格を取得するには、日中医療交流協会が主催する医療通訳士養成集中講座を受講する必要があります。講座は現在全国の大学のキャンパスで開講されており、今回琉球大学でも開講することができました。しかも、**今回に限り受講料は無料**となります。

開催日：平成23年10月22日(土)及び23日(日)の2日間(両日とも10:00～16:00)

会 場：琉球大学国際交流会館2F A201

所在地：沖縄県西原町千原1番地 琉球大学南口近く

受講料：今回に限り無料**とします。(交通費・昼食代は受講者負担)**

受講資格：日本語検定1級以上の語学力があり、専門、職業を問わず、北京語に堪能な方

主 催：日中医療交流協会

協 賛：日本亜健康研究所 沖縄県中国留学生協会

後 援：日本抗加齢センター株式会社 日中医療交流事業部

当日は、9:30から受付を開始します。